



ごあいさつ

盛夏の候 格別のご愛顧、お引立てを賜り有難く厚くお礼申し上げます。

2023年度の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の分類が5類に引き下げられたことから行動制限がなくなり、旅行客の需要回復や多くのイベントの復活で活気が戻りましたが、中東情勢の緊迫化や円安等により、エネルギーや食品を中心に値上げが相次ぐ一方、賃上げが物価上昇に追いつかず消費拡大までには及ばない状況でした。

稚内市を中心とする主営業地区においては、ほぼ全ての業種で深刻な人手不足や、ALPS処理水海洋放出に伴う中国の水産物全面禁輸措置の影響等が懸念された中、旅行客の需要増により宿泊業や飲食業を中心に回復が見られました。

また、当金庫では昨年5月に南支店ビルを新築オープンし、より良い金融サービスの提供を目指すと共に営業体制の強化を図りました。

そのような状況の中、2023年度の当金庫の業績につきましては、いずれも期中平均残高で預金は前期比0.54%増加、貸出金はコロナ禍後の個人消費の回復により一部業種において増加したものの、地方公共団体向けが減少した影響もあり、前期比0.35%減少となりました。収益は有価証券の利回り上昇や国債の売却等により増益となった一方、信用コスト負担増等により費用も増加した結果、経常利益で5億85百万円、また、退職年金制度変更に伴う特別利益計上により、税引後の当期純利益は6億6百万円となりました。

剰余金処分の結果、地域経済を支える原資と位置付けております配当負担のない利益剰余金は525億42百万円となり、自己資本比率も59.63%と高水準を維持することができました。

当地区は依然として高齢化と急速な人口減少に直面しておりますが、地域連携DMOとして本法人登録された「きた・北海道DMO」による更なる観光誘致の推進や、商業運転が開始された大規模風力発電事業などにより、今後の地域活性化が期待されております。

地域社会の持続可能性を高めるため、〈地元と共に繁栄します〉を掲げる信条の下、地域の皆さまと共に役職員一同不断の努力を傾注して参りますので、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

2024年7月

理事長 **増田 雅俊**

CONTENTS [主な内容]

P 1 信条・マークコンセプト

P 2 金融仲介機能のベンチマーク

P 4 人財

P 6 地域貢献・トピックス

P 9 お客さまとの相互交流

P 10 健全経営

P 12 自己資本

P 14 開示債権の状況

P 15 貸出金等の償却・引当基準

P 16 市場占有率

P 17 総代会機能

P 20 沿革・歩み

P 21 稚内しんきんの概要

P 22 店舗一覧・地区一覧